

# 卒業研究展

本展覧会では、愛媛大学教育学部の美術専攻卒業生が4年間の集大成として制作に取り組みました。学校教育教員養成課程 中等美術教育専修2名、学校教育教員養成課程 小学校サブコース6名、芸術文化課程造形芸術コース1名の計9名が、工芸(陶芸・木工)、絵画の分野で制作した作品及び、美術教育・美術史の研究成果を発表、展示致します。制作には1年をかけ各々の課題を追求、研究しました。美術専攻の学生の作品をご覧ください。

## 展覧会概要

- 期間 令和2年2月9日(日)～2月18日(火)  
※会期中無休  
※入場無料  
※2・3回生展同時開催  
〈11日(火)は発表会 一般入場可能〉
- 会場 ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)  
〒799-2651 愛媛県松山市堀江町 1165-1  
TEL 089-978-6838  
駐車場有
- 開催時間 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時45分まで)
- 展覧会に関するお問い合わせ  
学生お問い合わせ窓口 岡田佳那子  
e-mail [2020sotsugyoukenkyuu@gmail.com](mailto:2020sotsugyoukenkyuu@gmail.com)



ポスターは、元号が令和が変わったことと、学部改変等に合わせて、新しい時代に向かって挑戦していく私たちをイメージし、表現しました。私たちらしさが伝われば幸いです。

## 〈愛媛大学教育学部学校教育教員養成課程 とは〉

本課程では、得意分野の形成に向けて各教科の専門科目及び教科指導法をそれぞれ重点的に履修し、小学校教員免許及び中学校教員免許の取得を目指します。また、カリキュラムには、初年次から各種の実習と多段階の「省察」の機械が組み込まれ、「振り返り」を媒介として理論と実践の有機的統合を図り、教員としての実践的指導力と豊かな人間性を培う工夫がなされています。特に、中等教育コース美術教育専攻では、美術の教科指導に伴う専門的知識や、実践的能力を身に付け、豊かな感性と柔軟な発想を持つ児童生徒を理解し、表現の意義や喜びを児童生徒と共有できる教員になることを目指します。

## 〈愛媛大学教育学部芸術文化課程造形芸術コース とは〉

急速に変化する今日の社会では、創造的で活力ある人材が求められています。とりわけ造形芸術における「ものづくり」の体験は、生活に潤いと充実を求める現代社会において、ますます重要な意義を持っています。本コースは、このような社会状況の変化と地域社会の要請に積極的に対応しながら、造形芸術に関する豊富な知識と高度な技術を備え、多様な芸術文化活動の推進者・支持者となりうる専門性の高い人材の育成を目指します。